

**【協議事項】**

**1 警察職員の特別派遣について**

**（警備部）**

警察本部から「天皇皇后両陛下の第76回全国植樹祭御臨場等に伴う行幸啓警衛のため、愛媛県公安委員会から本県公安委員会に対し、警察職員の援助の要求がなされたことから、御審議をお願いする。」旨の説明後、本件は了承された。

**【報告事項】**

**1 将来を見据えた警察組織の構造改革及び優秀な警察官の確保に向けた取組について**

**（警務部）**

警察本部から「治安情勢の変化に応じた警察の対処能力の強化及び組織構造の弾力化という2つの課題に対応するため、警察庁から「将来を見据えた警察組織の構造改革及び優秀な警察官の確保に向けた指針」として、警察庁と都道府県警察及び都道府県警察等間の連携の在り方の見直しや都道府県警察の内部における役割分担の見直しなどの4本の柱、優秀な警察官の確保について、組織の魅力向上などの3本の柱が示された。県警察においては、本年2月にF-visionを策定しており、今回示された指針との考え方・検討の方向性は概ね一致していることから、F-visionの推進体制の枠組みの中で同ビジョンに掲げる分野別推進戦略に沿って、各戦略の関係所属を中心に検討していくこととしている。」旨の報告があった。

公安委員から「4本柱の主な取組の中に、戦略的な外国人関係施策の推進とあるが、その内容はどのようなものか。」旨の発言があり、警察本部から「外国人が安全に安心して生活できるような情報発信等を想定している。」旨の説明があった。

公安委員から「いずれも重要な取組であり、着実な推進をお願いする。」旨の発言があった。

**2 令和8年度福岡県警察柔道、剣道大会の実施について**

**（警務部）**

警察本部から「令和8年度福岡県警察柔道、剣道大会の実施について、剣道大会を5月19日、柔道大会を6月16日に福岡武道館において実施する。」旨の報告があった。

公安委員から「過去には、柔道大会と剣道大会が同日開催の時があったが、同日であれば諸準備の負担が軽減されるのではないか。」旨の発言があり、警察本部から「会場のスペースの関係や現場の治安維持体制確保の観点等から別日開催としている。」旨の説明があった。

公安委員から「開催の広報は行うのか。」旨の発言があり、警察本部から「広報を行う。」

旨の説明があった。

### 3 令和8年春の勲章伝達式の実施について

(警務部)

警察本部から「5月7日に、福岡リーセントホテルにおいて、令和8年春の勲章伝達式を実施する。同式典は、公共的な業務に対する長年の功労が認められ、国から勲章を授与された元警察職員に対し、その栄誉を称え、本県警察が伝達を行っているものである。」旨の報告があった。

公安委員から「長年の功績を称える大切な式典であり、滞りなく行われるようお願いする。」旨の発言があった。

### 4 福岡市中央区福浜における殺人未遂事件被疑者等の逮捕について

(刑事部)

警察本部から「中央警察署及び捜査第一課は、3月22日に福岡市中央区福浜において発生した殺人未遂事件で、公開捜査を行っていた被疑者及び同人の逃走に便宜を与えてこれを隠避した被疑者2人を4月19日に潜伏先で逮捕した。」旨の報告があった。

公安委員から「3人一緒に逃走していたのか。」旨の発言があり、警察本部から「途中で合流していた。」旨の説明があった。

### 5 嘉麻市における殺人事件被疑者の逮捕について

(刑事部)

警察本部から「嘉麻警察署及び捜査第一課は、3月10日、嘉麻市所在の母子生活支援施設において、女兒2人が死亡していた事件に関し、4月22日、殺人事件の被疑者として実母を逮捕した。」旨の報告があった。

公安委員から「動機は判明しているのか。」旨の発言があり、警察本部から「捜査中である。」旨の説明があった。

公安委員から「引続き事案の解明に向けた捜査をお願いする。」旨の発言があった。

### 6 恐喝事件被疑者の逮捕について

(暴力団対策部)

警察本部から「小倉北警察署ほか4所属は、令和7年9月、北九州市内において、被害者

から現金100万円を脅し取った恐喝事件で、令和8年4月13日、五代目工藤會傘下組織組員2人ほか1人を逮捕した。今後、余罪の追及のほか、匿名・流動型犯罪グループとの繋がりを明らかにし、五代目工藤會の資金源の実態解明、剥奪等に努める。」旨の説明があった。

公安委員から「工藤會壊滅に向けた重要なステップであり、引続きの捜査をお願いする。」旨の発言があった。

## 7 自転車の安全利用促進強化月間における警察活動の強化について

(交通部)

警察本部から「5月1日から5月31日までの「自転車月間」を機に、自転車の利用者が基本的な交通ルールを守り、正しい交通マナーを実践することで、交通事故の防止が図られるよう警察活動を強化する。重点推進事項は、全ての年齢層に対するヘルメット着用の促進及び自転車運転者による交通違反に対する指導取締りの強化などであり、期間中には、自転車等安全利用キャンペーン等を実施する。」旨の報告があった。

公安委員から「自転車の交通違反で青切符が適用された違反者の年齢層はどうか。」旨の発言があり、警察本部から「未成年が7人おり、そのうち高校生が6人であった。指導警告を前提としつつ、警告に従わないなど悪質な違反者を検挙している。」旨の説明があった。

公安委員から「重点地区とは何か。」旨の発言があり、警察本部から「自転車指導啓発重点地区は、自転車関連交通事故の発生状況等を踏まえて指定しており、現在、18地区、33路線を選定している。」旨の説明があった。

## 8 ゴールデンウィーク期間中における主な警備事象等と警察措置について

(警備部)

警察本部から「ゴールデンウィーク期間中の雑踏を伴う主な行事等に対応するため、警察本部に県警備本部を、行事会場等を管轄する警察署に署警備本部を設置するなどして指揮体制を確立し、警戒警備、雑踏対策、テロ対策に当たる。」旨の報告があった。

公安委員から「ゴールデンウィークは多くの人出が見込まれることから、安全が確保され無事に行事が行われるよう対策をお願いする。」旨の発言があった。

## 9 テロ対策福岡パートナーシップ推進会議の開催について

(警備部)

警察本部から「5月13日、行政機関をはじめ民間事業者等が緊密に連携して継続的なテロ対策を推進することを目的としたテロ対策福岡パートナーシップ推進会議を開催する。平成28年3月に設立された会議で、今回は10回目の開催であり、計58機関が参加する。会議では、危機管理に関する講話のほか、近年のテロ情勢及びテロ対策の情報提供等を行い、参加機関等の危機意識を醸成し、官民一体となったテロ対策の強化を図っていく。」旨の報告があった。公安委員から「発足から10回目であるが、参加機関は増えているのか。」旨の発言があり、警察本部から「参加機関は増えている。」旨の説明があった。